

21 世紀 COE シンポジウム報告書

化学研究所 山本真平

名称: 第 4 回京都大学化学系合同シンポジウム

「低温合成による機能性材料の創製」

世話人: 京都大学化学研究所(齋藤 COE) 山本真平

場所: 京都大学化学研究所大セミナー室

日時: 2007 年 2 月 20 日(火) 10:30-17:10

参加者: 大学院生、学生、博士研究員、教員

参加者総数: 40 名

シンポジウム内容

演者と演題は以下の通りである。

宇田哲也 (京都大学大学院工学研究科)

「固体りん酸塩電解質を用いた中温型燃料電池の開発への熱力学的アプローチ」

下嶋敦 (東京大学大学院工学系研究科)

「有機シラン分子を用いた無機有機ハイブリッドの合成とメソ構造制御」

垣花真人 (東北大学多元物質科学研究所)

「溶液錯体化学法による機能性無機材料の合成と高機能化」

山田真美 (東京農工大学共生科学技術研究院)

「湿式化学プロセスによる有機無機複合ナノ粒子材料の探索」

加藤雅恒 (東北大学大学院工学研究科)

「ソフト化学法による新しい酸化物超伝導体の探索」

町田正人 (熊本大学大学院自然科学研究科)

「大量の酸素を吸蔵放出する希土類硫酸塩の合成と触媒応用」

今回で 4 回目となる小久見、齋藤 COE の合同シンポジウムであるが、各 COE 所属研究グループの教員、博士研究員、学生その他、京都大学、東京大学、東北大学、東京農工大学、熊本大学から講師を招き行われた。低温および溶液プロセスによる無機材料、有機無機複合材料の合成と物性制御に関する幅広い内容を含むシンポジウムであったが、いずれの講演においても活発な質疑応答が交わされた。今回は年度末の忙しい時期に宇治キャンパスで行うという悪条件であったが、企業からの聴講者も多数来られ盛況であった。また、今回のシンポジウムには、以前に講師として招いた学外の先生方も聴講者として参加しており、このようなシンポジウムを継続的に開催することは、学生の教育面のみならず研究者間の情報交換・交流の面からも重要であることを実感した。